

入試心得

～力を発揮するために～

「入試は、心の勝負。すべては自分の心次第。弱気は最大の敵！」

1. 心構え

(1) 勇気とプライドをもって

- ・勇気を振り絞る、それが今です。
- ・安中のすばらしさが石川県内に響き渡っている。
→皆さんが築いたもの、安中生徒であることに誇りをもって臨む。

(2) 全力を尽くす

- ・1分1秒を無駄にしない。
- ・時間が余ったら何度も確認する。
- ・無解答を避け、粘り強さ、がんばりが伝わる答案とする。

(3) 熱く冷静に

- ・単純ミスを防ぐ。
→まずは全体の問題をよく確認し、できる問題から取りかかるようにする。あせって直ぐに一番目の問題にかかるようでは、単純ミスにつながります。
- ・入試は、一人で戦うわけではありません。家族の思いをエネルギーに変え、最後まで諦めずに粘り強く取り組むことです。
- ・教科の入り、立ち上がりを大事にする。
→受験番号等を記入し、全ての問題を眺め、最初に取りかかる問題にねらいを定める。

2. 準備・心得

(1) 切り替え上手に

- ・「難しかった」、「全然できなかった」と感じる教科が必ずあります。大事なことは「○○ができなかった」と、次の教科に引きずらないことです。
→勝負は1教科でない。気持ちをひきずらないことが合格の秘訣です。
- ・できた問題に単純ミスがないか、必ず見直す。
→難しい問題は、一部の人にしかできません。(できる問題を落とさない。)

(2) 仲間との連携

- ・1教科終わるごとに、できばえを確かめない。(答え合わせをしても仕方ないこと)
→互いに気を配り、次の教科に上手く切り替えていけるようにする。
- ・互いに服装・身なりを確認し、励ましや切り替えの声かけをする。

(3) 過ごし方

- ・前日の夜、当日の朝の準備を怠らない。試験開始は、9時過ぎになる。体の働きを考えると、前日は遅くとも11時には就寝し、当日は5時30分までには起床するようにする。

(4) 面接

- ・面接は、筆記試験を挽回するチャンスにもなります。(A評価をねらう)
- ・前日就寝前、当日朝には、必ずイメージトレーニングする。
- ・「志望理由」、「高校で頑張りたいこと」、「高校卒業後の進路」、「自己PR」、「中学校で頑張ったこと」は、必ず再確認する。
- ・回答は、文章ではなくキーワードでインプットしておく。

3. 公立入試、4月の新たなスタートに向けて

→私立入試後、学習時間も含め、さらに自己のレベルを上げる。

- ・明日(私立)は終わりではなく、始まりである。速やかに家に戻り、次(公立)に向けて準備する。
- ・進路が決定した人は、自分一人の力で決定できたわけではない。高校に向けてのしっかりとした自分づくりと、受験に向かう仲間のための雰囲気作りに努める。
- ・合格3か条を徹底する。
→①「3点固定」②「学習時間UP」(平日3時間以上、休日5時間以上)③「授業集中」
- ・1か月で急激に伸び難関突破を果たした人の性格・行動
→「何が何でも合格するという強い意志」、「先生への質問攻め」
→努力できることが才能であり、努力できることが明日の自分を拓く。
- ・受験は団体戦、辛いことをみんなで乗り越える雰囲気を作る。これまで培ってきた学級、学年全体の団結力を発揮する。
(団結の証：運動会)

「運動会で見せた3年生の団結は感動的で、今も鮮明に蘇ってきます。互いの理解が深まり、強い絆となり、現在に至っていると思います。今、苦しいこの時(受験期)こそ、これまで培ってきた団結力(絆力)を発揮するときではないでしょうか。共に励まし、高め合い全員合格を目指し突き進んでいきましょう！いい流れは安中にあります。」



勝負に挑む心「私はできる！」

私はできる！

そう、すべては自分の心次第。強い人が勝つとは限らない。すばやい人が勝つとは限らない。要領や頭がいいだけでは勝てない。

私はできる！ そう信じているものだけが、結局は勝つのだ。 全力を尽くす！